

「にっこり安心プラン（第6次宇都宮市高齢者保健福祉計画・  
第5期宇都宮市介護保険事業計画）」の進捗状況について

◎ 趣 旨

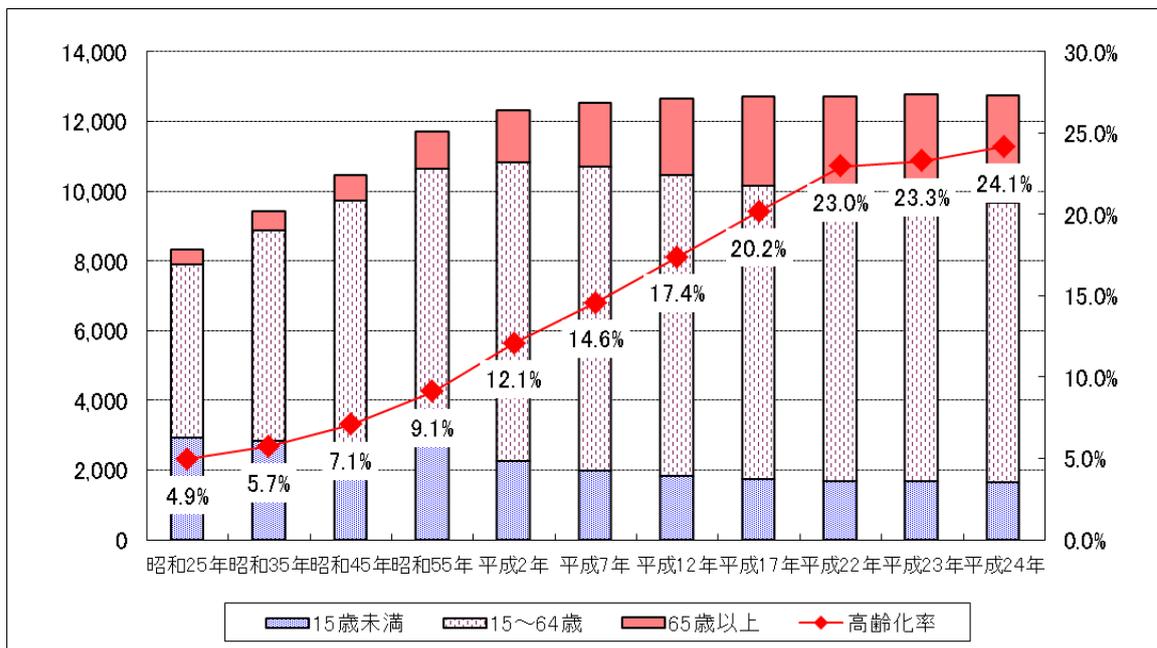
本市では、平成24年3月に策定した「にっこり安心プラン（第6次宇都宮市高齢者保健福祉計画・第5期宇都宮市介護保険事業計画）」（計画期間：平成24～26年度）に基づき、4つの基本目標を定め計画的に施策事業の実施に取り組んでおり、その進捗状況について取りまとめたことから報告するもの。

1 高齢化の現状と課題

(1) 我が国の高齢化の現状（平成24年10月1日現在）

- ・ 総人口 1億2,752万人
- ・ 高齢者人口（65歳以上） 3,079万人
- ・ 高齢化率（65歳以上） 24.1%

〔 65～74歳の高齢者人口：1,560万人 総人口に占める割合12.2% 〕  
〔 75歳以上の高齢者人口：1,519万人 総人口に占める割合11.9% 〕

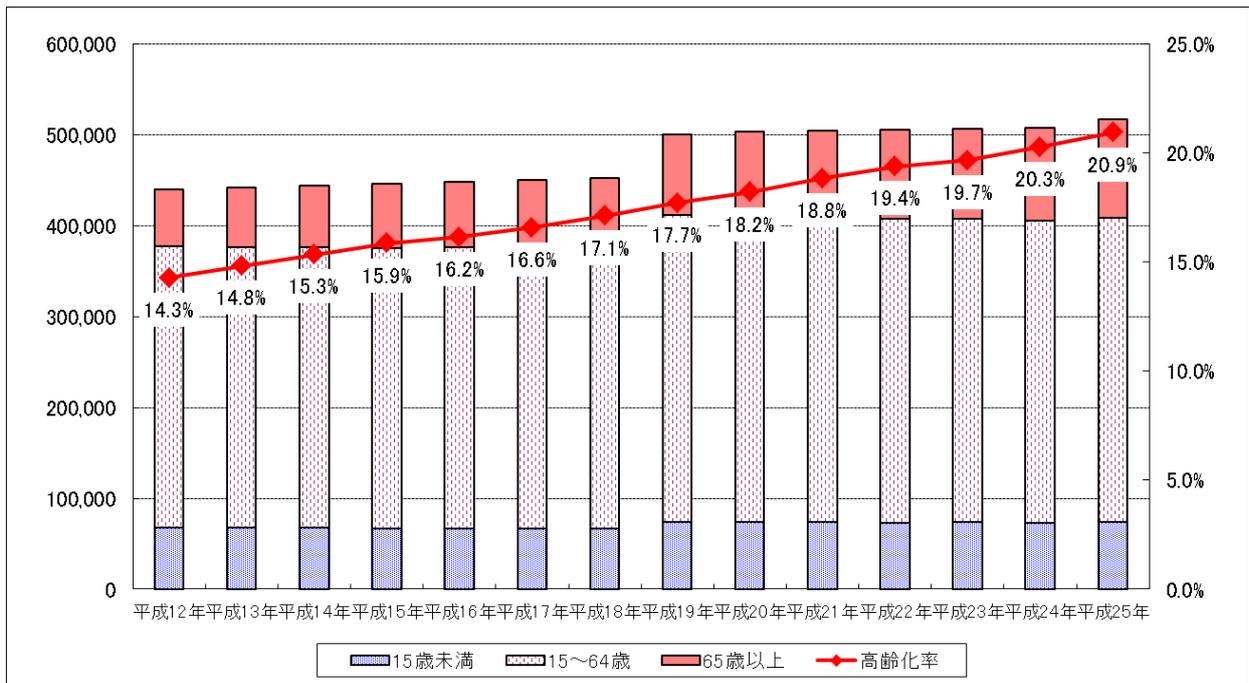


出典：各年10月1日現在。総務省「人口推計」より作成

(2) 本市の高齢化の現状（平成25年3月31日現在）

- ・ 本市の人口 51万6,546人
- ・ 高齢者人口（65歳以上） 10万8,254人
- ・ 高齢化率（65歳以上） 20.9%

〔 65～74歳の高齢者人口：5万8,630人 総人口に占める割合11.4% 〕  
 〔 75歳以上の高齢者人口：4万9,524人 総人口に占める割合 9.6% 〕



出典：宇都宮市「統計データバンク（年齢別人口）」より作成

【参考】中核市（49市）の高齢化率（平成24年3月31日現在）

順位	都市名	高齢化率	(参考) 前年度	比較増減
1	豊田市	17.9%	17.1%	+0.8%
2	岡崎市	18.8%	17.9%	+0.9%
3	西宮市	19.9%	19.3%	+0.6%
4	宇都宮市	20.3%	19.7%	+0.6%
5	船橋市	20.5%	19.8%	+0.7%
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
47	旭川市	26.6%	25.7%	+0.9%
48	函館市	28.1%	27.3%	+0.8%
49	下関市	29.0%	28.2%	+0.8%

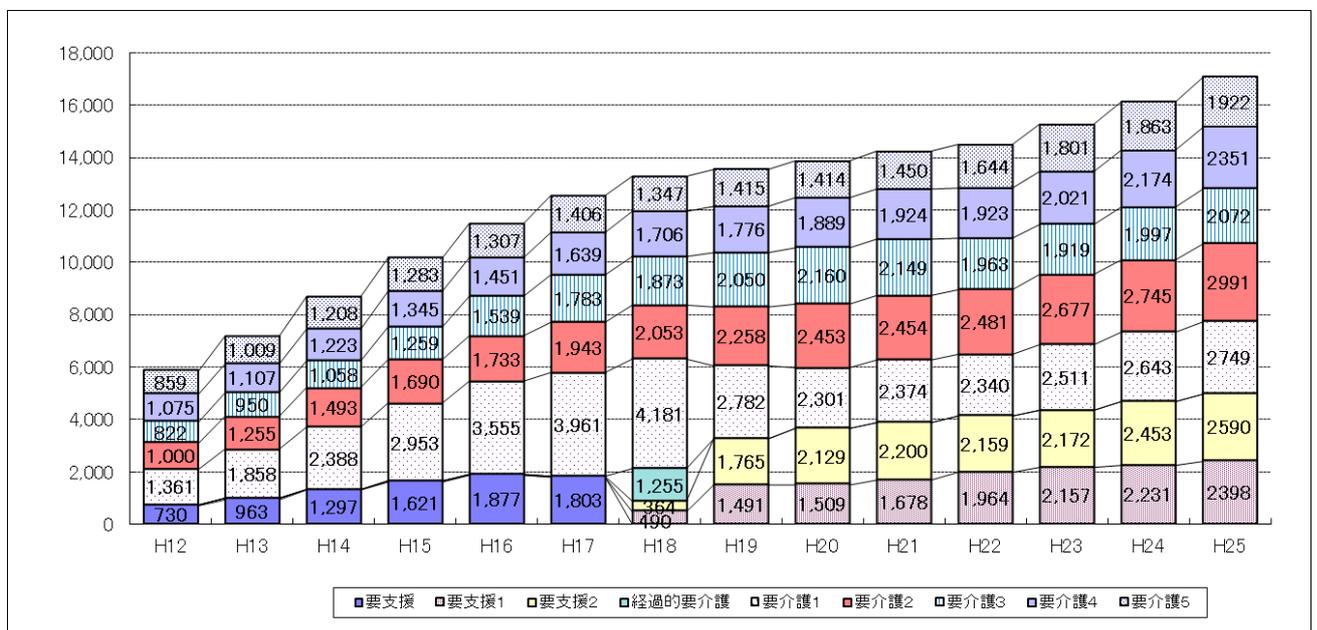
出典：宇都宮市「統計データバンク（中核市との行政水準比較）」より作成

(3) 介護保険における要介護（要支援）認定者の状況

- ・ 全国：570万人（平成25年6月末）  
第1号被保険者（65歳以上）の17.8%が要介護（要支援）認定者
- ・ 本市：1万7,073人（平成25年6月末）  
第1号被保険者（65歳以上）の15.2%が要介護（要支援）認定者

(参考) 宇都宮市における要介護・要支援認定者数の推移（各年6月末現在）

	要支援	要支援1	要支援2	経過的要介護	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
平成12年度	730	-	-	-	1,361	1,000	822	1,075	859	5,847
平成13年度	963	-	-	-	1,858	1,255	950	1,107	1,009	7,142
平成14年度	1,297	-	-	-	2,388	1,493	1,058	1,223	1,208	8,667
平成15年度	1,621	-	-	-	2,953	1,690	1,259	1,345	1,283	10,151
平成16年度	1,877	-	-	-	3,555	1,733	1,539	1,451	1,307	11,462
平成17年度	1,803	-	-	-	3,961	1,943	1,783	1,639	1,406	12,535
平成18年度	-	490	364	1,255	4,181	2,053	1,873	1,706	1,347	13,269
平成19年度	-	1,491	1,765	-	2,782	2,258	2,050	1,776	1,415	13,537
平成20年度	-	1,509	2,129	-	2,301	2,453	2,160	1,889	1,414	13,855
平成21年度	-	1,678	2,200	-	2,374	2,454	2,149	1,924	1,450	14,229
平成22年度	-	1,964	2,159	-	2,340	2,481	1,963	1,923	1,644	14,474
平成23年度	-	2,157	2,172	-	2,511	2,677	1,919	2,021	1,801	15,258
平成24年度	-	2,231	2,453	-	2,643	2,745	1,997	2,174	1,863	16,106
平成25年度	-	2,398	2,590	-	2,749	2,991	2,072	2,351	1,922	17,073



「介護保険事業状況報告」より作成

## 2 「にっこり安心プラン」における主要事業の取組状況

### ■ 基本目標1 「みんながつながり、支えあう地域社会の実現」

高齢者自身はもとより，その家族が地域コミュニティの中で孤立することなく，地域との連携や周囲の支えのもと，住み慣れた地域での生活を続けることができる，「みんながつながり，支えあう地域社会の実現」を目指します。

#### 1 主要事業の取組状況

##### (1) 地域保健・福祉体制の充実

###### 【施策】

- ・ 地域の総合的なネットワーク機能の充実，ボランティア活動・市民活動の推進

###### 【主要事業】

##### ◎ 地域会議等を活用した地域ネットワークの充実

地域包括支援センターを中心に，地域の自治会役員，民生委員・児童委員，地区社協などを委員とする地域会議を活用しながら，関係機関や団体との緊密な連携のもと，高齢者の暮らしを支える，地域の総合的なネットワーク機能の充実を図る。

指標名	単位	平成24年度 (推計値)	平成25年度 (推計値)	平成26年度 (目標値)
地域包括支援センターの認知度 (65歳以上高齢者)	%	66.5%(*)	—	80.0%

\*平成24年度の値は第45回市政に関する世論調査結果（60歳以上）から推計

##### 《今年度の取組に対する評価》

地域ネットワークの充実に向け，地域包括支援センターが中心的な役割を担い，地域の実情に応じ，関係機関・団体相互の連携に向けた取組を進めており，地域包括支援センター運営協議会においても一定の評価を得ている。

##### 《今後の取組》

地域包括支援センターの存在や役割を理解してもらえるよう，高齢者はもとより，家族や地域の関係機関・団体に対し，家族介護教室や認知症サポーター養成講座など様々な機会を活用しながら，地域包括支援センターのより一層の周知に努める。

## (2) ユニバーサルデザインの推進

### 【施策】

- ・ 意識のバリアフリーの推進，公共施設などのバリアフリー化の推進

### 【主要事業】

- 敬老会の開催支援など敬老のこころを育む取組の推進

市民の高齢者に対する理解と思いやりを育むとともに，多年にわたり社会に貢献してきた高齢者を敬い長寿を祝う場として「敬老会」の開催や「敬老祝金」の支給などに取り組む。

指標名	単位	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (年度末見込)	平成26年度 (目標値)
敬老会招待者数	人	50,935人	52,103人	54,400人
祝金対象者	人	4,641人	4,688人	5,217人

【今年度の評価：A】

### 《今年度の取組に対する評価》

市社会福祉協議会等との共催により敬老会の開催に取り組んでおり，高齢者数の増加に併せ，対象者も増加している。

### 《今後の取組》

より多くの高齢者が敬老会に参加してもらえるよう，市社会福祉協議会，市地区社会福祉協議会と連携しながら事業の周知に取り組む。

## (3) 安全で安心な暮らしの確保

### 【施策】

- ・ 地域の見守りと支援体制の充実，安全で安心な地域生活の確保

### 【主要事業】

- ひとり暮らし高齢者等安心ネットワークシステムの推進

- ・ 見守りが必要な高齢者のうち，高齢者本人が地域での見守りを希望する場合，地域包括支援センターが単位自治会ごとに見守り活動会議を開催。
- ・ 高齢者本人が地域での見守りを拒否している場合には，地域包括支援センターによる安否確認を実施。

指標名	単位	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (年度末見込)	平成26年度 (目標値)
見守り活動会議を開催した 単位自治会の割合	%	63.0%	64.0%	74.0%
安否確認実施回数	回	1,239回	1,150回	2,200回

【今年度の評価：B】

【◎…成果指標対象事業 ○…主要事業】

◎ 災害時要援護者支援事業の推進

近年、集中豪雨や地震等の自然災害により、ひとり暮らし高齢者などの「災害時要援護者」の被災が相次いでいることから、本市における要援護者に対する支援体制を整備し、風水害や地震等の自然災害が発生した場合に、要援護者に対し、迅速かつ的確な対応を図る。

指標名	単位	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (年度末見込)	平成26年度 (目標値)
災害時要援護者支援班設置地区数	地区	34地区	34地区	39地区

【今年度の評価：B】

○ 高齢者等を対象とした防犯に対する広報・啓発の実施

市民が防犯活動の必要性や重要性を認識するとともに、必要な情報を取得できるよう、見守りを必要とする高齢者及び障がい者を対象とした個別世帯訪問による啓発活動に取り組む。

指標名	単位	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (年度末見込)	平成26年度 (目標値)
見守りを必要とする高齢者等への個別世帯訪問による啓発活動	世帯	4,060世帯	7,690世帯	9,700世帯

【今年度の評価：B】

《今年度の取組に対する評価》

- ・ 地域包括支援センターを中心に民生委員等と連携しながら、見守りを必要とする高齢者の把握や日常的な見守り、防犯に対する広報・啓発活動に取り組んできたが、今年度については、見守りを必要とする高齢者等が、福祉サービスや介護サービスなどの利用により対象外となり、これに伴い、安否確認の実施回数についても減少している。
- ・ 災害時要援護者支援事業については、既に39地区中34地区と9割近くの地区で支援班が設置されているが、平成25年度の新規設置には至らなかった。

《今後の取組》

- ・ ひとり暮らし高齢者等安心ネットワークシステムについては、現在も地域包括支援センターや民生委員と連携しながら対象者の把握に努めており、引き続き、広く住民の協力を得ながら、ひとり暮らしの高齢者などへの見守り体制の整備に努める。
- ・ 災害時要援護者支援事業については、引き続き、当該事業の必要性などについて説明しながら、設置に向けた取組を進める。

【◎…成果指標対象事業 ○…主要事業】

#### (4) 高齢者にやさしい居住環境の整備

##### 【施策】

- ・ 高齢者の多様な住まいの支援，居住環境に関する相談機能の充実

##### 【主要事業】

#### ○ サービス付き高齢者向け住宅の適切な整備

##### ○ サービス付き高齢者向け住宅の概要

バリアフリー構造や一定の面積・設備基準を満たした住宅において，安否確認等のサービスを受けることができ，また，敷金並びに家賃及びサービスの対価以外の権利金が不要である等，高齢者の方々の安心した日常生活に配慮された住宅

(参考) 本市におけるサービス付き高齢者向け住宅の登録(管理)戸数の推移

- ・ 平成 24 年度末：16 棟 (539 戸) ⇒ 平成 25 年 12 月末：20 棟 (754 戸)

No.	住宅名	所在地	戸数
1	トレモンテ陽東	陽東 2 丁目 14-4	3 5
2	シロアムマンション花	一番町 3-17	5 9
3	サンフレンズ宇都宮	元今泉 7 丁目 19-1	1 7
4	さくらがおかケアセンター	宝木町二丁目 2570-12	2 0
5	さくらがおか江曾島	大和 2 丁目 12-23	3 1
6	とちのき鶴田	鶴田町 231-20	5 1
7	とちのき上戸祭	上戸祭町 3004-2	4 0
8	さくらがおか	西原町 3534-2	2 0
9	フォレストいこい	川田町 1020-9	3 6
10	ようきぐらし	西大寛 2 丁目 1-21	1 7
11	サポネット越戸	越戸町 111-1	2 5
12	ゴールドエイジビオス	下岡本町 2108-60	3 2
13	ふるさとホーム宇都宮鶴田	鶴田 2 丁目 19-1, -2	3 0
14	マドールガーデン「あかり」	駒生町 1219	5 0
15	えがお	宝木本町 2062-2	3 6
16	ハートランド宇都宮	鶴田町 1044-4	4 0
17	トレモンテ明日館	石井町 2972-1	1 1 5
18	リビングサックス雀の宮	雀の宮 2-762-1	3 4
19	笑顔施宇都宮砥上	砥上町字北原 337-2	2 6
20	家族の家ひまわり宇都宮豊郷台	豊郷台 2 丁目 2	4 0

出典：サービス付き高齢者向け住宅情報提供システム (すまいづくりまちづくりセンター連合会)

### 《今年度の取組に対する評価》

高齢者の多様な住まいのひとつとして、サービス付き高齢者向け住宅の整備戸数は毎年増加している。

### 《今後の取組》

高齢者が住み慣れた地域で安心して自立した生活が継続できるよう、引き続き、サービス付き高齢者向け住宅などの住まいに関する情報提供に取り組む。

## ■ 基本目標2 「健康で生きがいのある豊かな生活の実現」

高齢者一人ひとりが、自主・自発的に社会参加活動や継続的な健康づくりや介護予防に取り組むことにより健康寿命を延ばし、趣味などの楽しみや、友人との交流などにより生きがいを感じることで、「健康で生きがいのある豊かな生活の実現」を目指します。

### 1 主要事業の取組状況

#### (1) 健康づくりによる健康寿命の延伸

##### 【施策】

- ・ 健康づくり事業の推進

##### 【主要事業】

#### ○ 健康づくり実践活動の推進

健康づくり推進員が、地域での健康づくりのリーダーとして、地域住民に対して健康づくりに関する意識啓発や情報提供を行うとともに、行政とのパイプ役となることにより、「地域主体」の健康づくりを推進する。

指標名	単位	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (年度末見込)	平成26年度 (目標値)
健康づくり推進員養成者数	人	1,118人	1,181人	1,300人

【今年度の評価：A】

### 《今年度の取組に対する評価》

高齢者一人ひとりが、日頃から主体的に健康づくりに取り組めるよう、健康づくり推進員の養成に取り組み、平成25年度は、養成講座の開催回数を年3回から年4回に増やすなど事業の充実に努めた。

### 《今後の取組》

健康づくり推進員の活動が各地域で広まっていくよう、関係機関・団体等との連携を図りながら、健康づくり推進員の活動の周知やPRに取り組む。

【◎…成果指標対象事業 ○…主要事業】

## (2) 介護予防の推進

### 【施策】

- ・ 介護予防の効果的な展開，きめ細かな介護予防の展開

### 【主要事業】

#### ○ 介護予防の成果把握に向けた取組の推進

介護予防事業をより有効なものとするため，介護予防事業の評価や効果的な運動について県内の医科大学と共同研究に取り組み，介護予防事業の充実を図る。

#### ◎ はつらつ教室などの開催

介護予防に関する知識の普及・啓発を目的として，簡単な運動や認知症予防のための頭と体を使った体操などを行う教室を開催し，高齢者ができる限り介護状態に陥ることを予防し，健康でいきいきとした生活を送れるよう支援する。

指標名	単位	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (年度末見込)	平成26年度 (目標値)
参加実人数	人	1,214人	1,250人	1,930人

【今年度の評価：B】

#### ◎ いきいき健康サッカー教室，自転車教室，バスケット教室の開催

市内プロスポーツ組織と連携し，高齢者向けのストレッチ体操の実技指導に加え，サッカーや自転車，バスケットに関する知識・情報提供を行う教室を開催し，身体を動かすことの楽しさを学ぶことで活動的で生きがいのある生活を送ることができるよう支援する。

指標名	単位	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (年度末見込)	平成26年度 (目標値)
参加実人数	人	132人	186人	240人

【今年度の評価：B】

#### ◎ 通所型二次予防事業の充実

要支援・要介護状態となるおそれの高い高齢者を対象に，要支援・要介護状態に移行することを予防するため，「運動器の機能向上」，「栄養改善」，「口腔機能の向上」，「認知症予防」のための教室を開催し，生活機能の向上を図り，住み慣れた地域で自立した生活を送ることができるよう支援する。

指標名	単位	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (年度末見込)	平成26年度 (目標値)
参加実人数	人	450人	440人	810人

【今年度の評価：B】

【◎…成果指標対象事業 ○…主要事業】

◎ 訪問型二次予防事業の実施

要支援・要介護状態となるおそれの高い高齢者を対象に、家庭訪問により必要な保健指導を行うことで、生活機能の向上を図り、住み慣れた地域で自立した生活を送ることができるよう支援する。

指標名	単位	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (年度末見込)	平成26年度 (目標値)
参加実人数	人	69人	65人	100人

【今年度の評価：B】

◎ 地域での介護予防活動への支援

高齢者が地域において自主的に介護予防活動を継続できるよう、はつらつ教室や通所型二次予防事業の教室終了者などで組織された自主グループを支援する。

指標名	単位	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (年度末見込)	平成26年度 (目標値)
参加実人数	人	1,244人	1,670人	2,640

【今年度の評価：B】

《今年度の取組に対する評価》

介護予防事業のうち、「はつらつ教室」や「通所型二次予防事業」などの「教室型」の事業については、これまで多くの高齢者が参加できるよう、市内中心部を会場に実施していたものを、公民館など、より身近で小規模な会場に見直し取り組んできたが、参加者は減少傾向にあり、これらの事業の利用希望者については、一定程度、受講が終了したものと想定される一方、身近な地域で仲間と一緒に介護予防に取り組む自主グループ活動を支援する「地域介護予防活動支援事業」については、参加者が増加している。

《今後の取組》

今後については、高齢者が身近な地域で仲間とともに、気軽に取り組める環境の整備が重要となることから、より多くの高齢者が継続して介護予防活動に参加できるよう、引き続き、地域で自主的に活動するグループの育成・支援に取り組む。

【◎…成果指標対象事業    ○…主要事業】

### (3) 生きがいづくりの促進

#### 【施策】

- ・ 交流の場，交流機会の提供，学習・スポーツ・芸術の場や機会の提供

#### 【主要事業】

- 老人クラブ活動の育成・支援

老人クラブ活動は，高齢者の生きがいと健康づくりや高齢者自身による多様な社会参加活動の促進に繋がることから，老人クラブ活動の活性化を図るため，宇都宮市老人クラブ連合会の運営や単位老人クラブの活動支援に取り組む。

指標名	単位	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (年度末見込)	平成26年度 (目標値)
単位老人クラブ数	クラブ	352クラブ	341クラブ	372クラブ
老人クラブ会員数	人	20,137人	19,588人	21,700人

【今年度の評価：A】

#### 《今年度の取組に対する評価》

老人クラブへの加入促進に向け，老人クラブ連合会が単位老人クラブを支援しながら，加入促進強化月間を展開し，老人クラブ活動に関するチラシの配布やPRのほか，新規加入にむけた声掛け運動などに取り組んできたが，単位老人クラブ数，会員数については，平成24年度に対し，平成25年度の実績見込みは減少している。

#### 《今後の取組》

老人クラブが，多様化する高齢者のニーズに対応した魅力ある組織となり，活動を安定的に継続していけるよう，宇都宮市老人クラブ連合会を通して，活動内容の一層の充実や活動の中核となる人材の育成を支援していく。

【◎・・・成果指標対象事業      ○・・・主要事業】

#### (4) 社会参画の促進

##### 【施策】

- ・ 社会参加活動の環境整備，高齢者の就業支援，高齢者の外出支援の充実

##### 【主要事業】

- 高齢者のライフスタイルに合わせた情報提供や講座等の充実
- キャリアカウンセラーによる専門相談機能の充実

豊富な知識や経験を持ったシニア世代の方が，地域福祉の担い手として活躍できるよう，また，第2の人生を健康でいきいきと暮らすことができるよう支援するため，みやシニア活動センターにおいて，総合相談や講座等の各種事業に取り組む。

指標名	単位	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (年度末見込)	平成26年度 (目標値)
みやシニア活動センター利用者数(累計)	人	3,175人	3,895人	4,200人

【今年度の評価：A】

- 高齢者外出支援事業の推進

70歳以上の高齢者を対象に，年度1回，5,000円相当のバス乗車券を市の窓口で交付する「交付事業」及びバス乗車券購入を助成する「助成事業」を実施する。

指標名	単位	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (年度末見込)	平成26年度 (目標値)
バス乗車券利用者数	人	18,948人	20,359人	19,200人

【今年度の評価：A】

##### 《今年度の取組に対する評価》

- ・ シニア世代の社会参画を促進するため，みやシニア活動センターにおいて，地域デビュー講座等に取り組み，同センターの利用者は順調に増加している。
- ・ 高齢者の外出を促進するため，高齢者外出支援事業において，平成24年度から，市の窓口でバス乗車券を受け取ることができるように見直したことにより，バス乗車券利用者数は大きく伸びており，利用者の利便性の向上が図られている。

##### 《今後の取組》

- ・ 「高齢者外出支援事業」については，高齢者の外出を促進するため，引き続き，地域内交通の整備に合わせ選択肢を追加しながら利便性の向上に取り組む。
- ・ 高齢者等が取り組む「地域貢献活動」や「健康づくり活動」などに対しポイントを付与し，貯めたポイントが介護保険料や市のサービス利用のほか，活動奨励物品や福祉団体への寄付等に充てることを可能とする「高齢者等地域活動支援ポイント事業」に取り組む。

【◎…成果指標対象事業 ○…主要事業】

### ■ 基本目標3 「いつまでも自分らしさを持ち、自立した生活の実現」

高齢者の状況に応じた適切な福祉サービスの提供や、成年後見制度など高齢者の権利を擁護する制度を必要な時に利用することにより、高齢者一人ひとりが誇りを持ち、自分らしい生き方を続けることができる、「いつまでも自分らしさを持ち、自立した生活の実現」を目指します。

#### 1 主要事業の取組状況

##### (1) 適切な福祉サービスの提供

###### 【施策】

- ・ 高齢者のニーズに応じた福祉サービスの提供、介護者への支援

###### 【主要事業】

##### ○ 高齢者ホームサポート事業の実施

介護認定を受けた低所得の高齢者等を対象とした事業で、家周りの手入れなど、日常生活上、必要な支援を行うことにより、住み慣れた地域で自立した生活を送ることができるよう支援する。

指標名	単位	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (年度末見込)	平成26年度 (目標値)
登録者数	人	645人	647人	690人

【今年度の評価：A】

##### ○ 生きがい対応型デイサービス事業の実施

家に閉じこもりがちなひとり暮らし高齢者等を対象とした事業で、身近な専用施設で日常動作訓練や趣味活動・創作活動などのサービスを提供することにより、孤独感の解消を図り、活動的で生きがいのある生活を送ることができるよう支援する。

指標名	単位	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (年度末見込)	平成26年度 (目標値)
延利用者数	人	24,029人	22,767人	25,500人

【今年度の評価：A】

##### ○ 緊急通報システム事業の実施

ひとり暮らしの高齢者等を対象とした事業で、緊急通報受信センターが日常の健康・生活相談を受けるほか、急病等の緊急時には、協力員を派遣し状況確認を行い、必要に応じて医療機関に搬送するなどの支援を行うことにより、日常生活上の安全を確保するとともに精神的な不安の解消を図る。

指標名	単位	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (年度末見込)	平成26年度 (目標値)
緊急通報システム延利用台数	台	1,197台	1,167台	1,245台

【今年度の評価：A】

【◎・・・成果指標対象事業    ○・・・主要事業】

○ 食の自立支援（配食サービス）事業

栄養改善が必要な方に、「食」の自立の観点から食関連サービスの利用調整を行ったうえで、訪問による食事サービスを提供する。

指標名	単位	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (年度末見込)	平成26年度 (目標値)
登録者数	人	292人	293人	450人

【今年度の評価：B】

○ 家族介護教室

適切な介護知識や介護技術習得のための講話や講習のほか、介護者の交流のための情報交換や意見交換などの場を提供する。

指標名	単位	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (年度末見込)	平成26年度 (目標値)
開催回数	回	56回	60回	63回

【今年度の評価：A】

《今年度の取組に対する評価》

高齢者等が集う場の整備など社会環境の変化に伴い、様々な選択肢が増えてきたことや、介護保険サービスの利用が行き届いてきたことなどにより、いくつかの主要事業において平成25年度の実績見込みは微減している。

《今後の取組》

福祉サービスを必要とする高齢者が、必要とするサービスを適切に利用できるよう、引き続き、事業の周知に取り組んでいく。

【◎…成果指標対象事業      ○…主要事業】

## (2) 認知症高齢者等対策の充実

### 【施策】

- ・ 認知症の正しい理解に向けた周知啓発の推進
- ・ 認知症予防の推進
- ・ 早期相談・早期発見・早期診断のための仕組みの構築
- ・ 医療・介護・福祉が連携したケア体制の充実
- ・ 認知症介護者への支援
- ・ 認知症高齢者やその家族が暮らしやすい地域づくりの推進

### 【主要事業】

#### ◎ 認知症サポーター・認知症キャラバンメイト養成講座等の開催・支援

多くの方々が認知症についての正しい知識をもつことで、認知症の人に対する理解や対応ができる「認知症高齢者を支える地域づくり」を目的に、「認知症サポーター」を養成する講座の開催支援や、サポーター養成講座の講師役となる「認知症キャラバン・メイト」の活動を支援する。

指標名	単位	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (年度末見込)	平成26年度 (目標値)
認知症サポーター数（累計）	人	15,171人	17,300人	23,000人

【今年度の評価：B】

#### ◎ 認知症地域ケアネットワーク会議（仮称）の設置

既存の地域包括支援センターブロック会議を活用し、宇都宮市医師会の協力のもと、認知症ケアに関する研修及び意見交換会に取り組むことにより、地域包括支援センターを中心に、より一層、医療・介護・福祉が緊密に連携した切れ目のないケア体制の充実を図る。

指標名	単位	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (年度末見込)	平成26年度 (目標値)
設置か所数	か所	5か所	5か所	5か所

【今年度の評価：A】

#### ○ 認知症支援医療・介護従事者合同研修会の開催・支援

認知症高齢者やその家族等を地域ぐるみで支える体制づくりを推進するため、医療・介護従事者を対象とした研修会を開催する。

指標名	単位	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (実績値)	平成26年度 (目標値)
参加者数	人	107人	150人	200人

【今年度の評価：B】

【◎…成果指標対象事業 ○…主要事業】

○ 認知症の人を介護する家族のつどい・交流会の開催

適切な介護知識や介護技術習得のための講話や講習のほか、介護者の交流のための情報交換や意見交換などの場を提供する。

指標名	単位	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (年度末見込)	平成26年度 (目標値)
家族介護教室開催回数（再掲）	回	56回	60回	63回

【今年度の評価：A】

○ 認知症の人やその家族を支えるネットワークの充実

認知症高齢者やその家族等を地域ぐるみで支える体制づくりを推進するために、医療・介護・福祉関係者等によるネットワーク会議を開催する。

指標名	単位	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (実績値)	平成26年度 (目標値)
認知症地域ケアネットワーク 研修・意見交換会開催回数	回	10回	10回	4回

【今年度の評価：A】

《今年度の取組に対する評価》

- ・ 認知症の人やその家族に対する支援の充実に向け、認知症ケアネットワーク研修・意見交換会などの施策・主要事業は順調に進んでいる。
- ・ 認知症の本人とその家族が地域で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、平成25年10月から新たに「オレンジ・サロン（認知症サロン）事業」に取り組みはじめた。

《今後の取組》

認知症高齢者等対策については、引き続き、認知症の予防から気づき、早期発見と診断、認知症発症後のケアまで切れ目のない支援体制の構築に向けた取り組みを進める。

(参考) オレンジ・サロン（認知症サロン）事業・・・**参考資料参照**

本市では、平成25年10月より、公益社団法人認知症の人と家族の会 栃木県支部の協力のもと、認知症の本人とその家族、地域住民等の誰もが参加でき、集うことが可能な交流の場として「オレンジ・サロン（認知症サロン）」を市内3か所に設置しています。



(参考:オレンジ・サロン「石蔵」)

【◎・・・成果指標対象事業      ○・・・主要事業】

### (3) 高齢者の権利擁護及び制度の利用支援

#### 【施策】

- ・ 権利擁護事業の推進と成年後見制度などの利用支援

#### 【主要事業】

#### ○ 権利擁護事業の推進

自治会や社会福祉協議会，地域包括支援センターと連携しながら，成年後見制度や虐待防止など高齢者の権利擁護に関する周知・啓発や，成年後見制度等の利用が必要な高齢者を支援することにより，高齢者が安心して暮らせる環境を整備する。

指標名	単位	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (年度末見込)	平成26年度 (目標値)
地域における虐待防止のための普及啓発活動	回	39回	39回	39回

【今年度の評価：A】

#### 《今年度の取組に対する評価》

自治会や社会福祉協議会，地域包括支援センターと連携しながら，地域における虐待防止のための啓発活動などに取り組んでいる。

#### 《今後の取組》

高齢者の権利擁護を図るため，引き続き，虐待防止の意識を高めるための啓発活動のほか，成年後見制度などの制度周知や利用に向けた支援に取り組む。

【◎…成果指標対象事業      ○…主要事業】

## ■ 基本目標 4 「快適で安全安心な生活の実現」

介護サービスの充実を図るとともに、介護サービスの質の向上に向けた取組を進め、高齢者本人やその家族が安心して利用できる介護保険事業を運営することにより、「介護サービスの利用を通じた笑顔あふれる社会の実現」を目指します。

### 1 主要事業の取組状況

#### (1) 介護保険事業の充実

##### 【施策・主要事業】

- ・ 介護サービスの提供

##### ア 主な介護サービスの利用状況

指標名	単位	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (年度末見込)	平成26年度 (見込量)
<b>居宅サービス</b>				
訪問介護	回	365,098	392,732	388,683
訪問看護	回	45,433	49,075	42,859
通所介護	回	455,753	501,000	481,978
通所リハビリテーション	回	71,471	73,439	75,360
短期入所生活介護	日	116,727	118,901	129,831
<b>施設サービス</b>				
介護老人福祉施設	人	16,367	16,787	18,324
介護老人保健施設	人	11,750	12,029	12,461
介護療養型医療施設	人	4,118	3,403	3,912
<b>地域密着型サービス</b>				
認知症対応型通所介護	回	19,037	19,879	22,204
小規模多機能型居宅介護	人	2,495	2,770	4,056
認知症対応型共同生活介護	人	3,689	3,897	4,200
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	人	1,235	1,787	2,340
<b>介護予防サービス</b>				
介護予防訪問介護	人	14,947	15,618	17,637
介護予防訪問看護	回	3,324	4,241	4,228
介護予防通所介護	人	16,519	17,732	16,995
介護予防通所リハビリテーション	人	2,760	2,626	4,134
<b>介護予防地域密着型サービス</b>				
介護予防認知症対応型通所介護	回	30	18	12
介護予防小規模多機能型居宅介護	人	331	394	310
介護予防認知症対応型共同生活介護	人	33	24	44

\*平成26年度の値については、計画策定時に見込んだ各サービスの見込量を記載

イ 第5期宇都宮市介護保険事業計画における介護保険施設等整備状況

(ア) 第5期宇都宮市介護保険事業計画における介護保険施設等整備計画

区分	単位	第4期末	第5期介護保険事業計画		
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	整備累計(①+②)	1,616 床	1,714 床	1,833 床	1,833 床
	整備数(①+②)	-	98 床	119 床	0 床
広域型 ①	整備累計	1,500 床	1,540 床	1,630 床	1,630 床
	整備数	-	40 床	90 床	0 床
地域密着型 ②	整備累計	116 床	174 床	203 床	203 床
	整備数	-	58 床	29 床	0 床
介護老人保健施設	整備累計	1,038 床	1,038 床	1,038 床	1,038 床
	整備数	-	0 床	0 床	0 床
介護療養型医療施設	整備累計	394 床	394 床	394 床	394 床
	整備数	-	0 床	0 床	0 床
認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	整備累計	315 床	351 床	351 床	351 床
	整備数	-	36 床	0 床	0 床
特定施設入居者生活介護	整備累計	615 床	615 床	795 床	795 床
	整備数	-	0 床	180 床	0 床

(イ) 介護保険施設等の整備状況

- 広域型特別養護老人ホーム【増床分】
  - ・ 平成24年度整備分：2施設／40床 …… 整備済
  - ・ 平成25年度整備分：2施設／40床 …… 1施設整備済・1施設整備中
- 広域型特別養護老人ホーム【新設分】
  - ・ 平成25年度整備分：1施設／50床 …… 整備中
- 地域密着型特別養護老人ホーム【新設】
  - ・ 平成24年度整備分：2施設／58床 …… 整備済
  - ・ 平成25年度整備分：1施設／29床 …… 平成26年度選定
- 認知症対応型共同生活介護【新設分】
  - ・ 平成24年度整備分：2施設／36床 …… 整備済
- 特定施設入居者生活介護【新設分】
  - ・ 平成25年度整備分：1施設／60床 …… 整備中

《今年度の取組に対する評価》

- ・ 高齢者人口の増加に併せ、介護サービス利用量も増加している。
- ・ 介護保険施設等の整備については、概ね計画どおり進んでいる。

《今後の取組》

介護を必要とする方が適切な介護サービスを受けられるよう、引き続き、介護保険施設等の計画的な整備などに取り組む。

## (2) 介護サービスの質の向上

### 【施策】

- ・ サービスの質の確保・向上
- ・ 介護人材の育成・支援
- ・ 介護保険制度の安定的な運営に向けた取組の推進

### 【主要事業】

#### ◎ ケアプランに対する助言・指導

より良質で効果的なケアマネジメントが可能となるよう、利用者の自立支援につながるケアプランであるかなどの視点から、ケアプランの点検を実施する。

指標名	単位	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (年度末見込)	平成26年度 (目標値)
ケアプラン点検数	件	303件	470件	180件

【今年度の評価：A】

#### ◎ 介護サービス従事者に対する研修会等の実施

介護サービスの質の向上を図るため、県や関係機関と連携しながら、介護サービス従事者の資質と専門性の向上に繋がる各種研修会を実施する。

指標名	単位	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (年度末見込)	平成26年度 (目標値)
開催回数	回	9回	9回	9回

【今年度の評価：A】

#### ○ 介護給付費通知の送付

介護サービスの適切な利用促進を図るため、サービス利用者等が自らサービスの利用状況を確認することができる「介護給付費通知」を送付する。

指標名	単位	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (年度末見込)	平成26年度 (目標値)
送付通数	通	11,388通	12,255通	12,000通

【今年度の評価：A】

【◎…成果指標対象事業    ○…主要事業】

○ パンフレットやホームページ等を活用した介護保険制度の周知・啓発

高齢者や家族等に対し広く介護保険制度の周知を図るため、介護保険の手引きなどのパンフレットやホームページ等による周知・啓発に取り組む。

指標名	単位	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (年度末見込)	平成26年度 (目標値)
介護保険の手引き作成部数	部	11,500部	11,000部	13,000部

【今年度の評価：A】

《今年度の取組に対する評価》

- ・ サービスの質の向上や介護人材の育成支援に向け、ケアプランに対する助言・指導や介護サービス従事者に対する研修会を実施した。
- ・ 介護保険の手引きの作成部数は減少しているものの、介護保険料や介護認定に関する通知などと併せて、介護保険制度の仕組みや介護サービスの利用方法などを掲載したチラシを送付するなど、制度の周知・啓発に取り組んだ。

《今後の取組》

市民に対し広く介護保険制度の周知・啓発に取り組むとともに、高齢者本人やその家族が安心して利用できるよう、引き続き、介護従事者等に対する研修などに取り組み、介護サービスの質の向上を図る。

【◎…成果指標対象事業      ○…主要事業】

### 3 「にっこり安心プラン」の評価について

にっこり安心プラン（第6次宇都宮市高齢者保健福祉計画・第5期宇都宮市介護保険事業計画[計画期間：平成24～26年度]）の、平成25年度における成果指標対象事業及び主要事業の進捗状況について整理し、評価を行う。

#### (1) 成果指標対象事業及び主要事業の進捗状況

評価	事業数	割合
A：順調に進んでいる	17事業	60.7%
B：概ね順調に進んでいる	11事業	39.3%

#### (2) 評価及び今後の取組

##### ア 全体評価

- ・ 介護予防事業については、「はつらつ教室」や「通所型二次予防事業」などの「教室型」の事業のほか、教室終了者などで構成された介護予防の自主グループへの活動支援を通して、介護予防で得られた活動的な状態を維持するための活動や社会参加を促す取組を進めている。
  - ・ 福祉サービスについては、高齢者等が集う場の整備など社会環境の変化に伴い、様々な選択肢が増えてきたことや、介護保険サービスの利用が行き届いてきたことなどにより、いくつかの主要事業において平成25年度の実績見込みは微減している。
  - ・ 認知症対策については、認知症に対する正しい理解に向けた周知啓発や、医療・介護・福祉が連携したケア体制の充実に向けた取組のほか、認知症の本人やその家族が暮らしやすい地域づくりに向け「オレンジ・サロン（認知症サロン）事業」などに取り組み、施策を着実に推進している。
- ⇒ 全体的にはおおむね順調に進んでおり、一定の成果を上げている。

##### イ 今後の取組

介護予防事業や福祉サービスについては、引き続き、必要な方が利用できるよう、地域の身近な相談窓口である「地域包括支援センター」と連携しながら、各種事業の周知・啓発に取り組むとともに、元気な高齢者が、豊富な知識や経験を生かしながら、今後、急増が予想されるひとり暮らし高齢者などを支える担い手として活躍し、高齢者自身の生きがいくくりにも繋がる新たな仕組みとして「高齢者等地域活動支援ポイント事業」に取り組むことにより、計画の着実な推進を図る。